

浄化槽清掃費の一部を補助します

市では、住民登録のある一般家庭および店舗・事務所などの併用住宅（単独浄化槽を使用している併用住宅については処理対象容積3m³まで）で、市が許可した清掃業者が清掃した浄化槽に限り、次のすべてに該当しているものについて年度に1回、清掃費の一部を補助しています。

- ① 浄化槽法に基づく都への浄化槽設置届をして、確認されている浄化槽
- ② 建築基準法による建築確認を受けている浄化槽
- ③ 公共下水道供用開始区域外または供用開始されてから1年以内の区域内の浄化槽
- ④ 個人管理の浄化槽

その他

▽浄化槽管理者には、浄化槽法により、清掃の他にも年1回の法定検査と定期的な保守点検が義務付けられています。水質の汚濁を防止し、きれいな河川の環境を守りましょう。

広報おうめや青梅市ホームページに広告を掲載しませんか

☆広報おうめ
規格 ①縦33mm×横74mm
②縦69mm×横74mm

☆バナー広告
規格規格・容量（GIF形式・アニメ不可）

▽1か月5か月：2万円
▽6か月11か月：1万8千円（1割引）
☆いずれも
その他 広告掲載の手続きに3週間程度かかりますので、余裕をもって申し込みください。

募集号 平成32(2020)年3月15日号まで
※空き状況等詳細は直接お問い合わせください。
掲載料 ①2万円②4万円
掲載可能回数 原則として、年6回まで（うち連続掲載は4回まで）



粗大ごみの出し方

☆粗大ごみ：一般家庭（事業所からのものを除く）から排出される大型ごみ

▽処理手数料は、その場でお支払いください。
粗大ごみ自宅回収（予約制）
粗大ごみ専用受付電話 ☎23・5805へお申し込みください。
※電話番号を間違えないようご注意ください。
※収集まで数日お待ちいただきますので、早めにご連絡ください。

収集日 月々金曜日（祝日を含む）
※年末年始を除く

▽収集当日は、収集車両に積めるように道路際まで品物を出してください。
収集時の立ち会いは不要です。

△生活保護・児童扶養手当・特別児童扶養手当受給世帯は、処理手数料が免除になります。直接持ち込みの場合は、受付時に証書を提示してください。

△65歳以上の方のみ・障害者のみ等で居住し、手伝う人がいない世帯で、自分で粗大ごみを屋外へ運び出すことが困難な

市民活動団体支援講座

災害時に私たちができること
災害ボランティア活動

近年、台風、豪雨や地震等による災害が多発し、各地で多大な被害が発生しました。メディアを通じて被害の現状を知り、被災地・被害者の方々に「何かができるか」「何がしたいか」と、災害ボランティアの経験はないけれど、行動を起こしたいという方も多いためではないでしょうか。

講師 東京ボランティア・市民活動センター 安部 宏太氏
定員 先着30人（予約制）
費用無料

持ち物 筆記用具
申し込み 電話または直接
市民活動推進課、青梅ボランティア・市民活動センター ☎23・7163へ

日時 3月27日（水）午後1時～3時
会場 市役所2階205会議室



▲安部宏太氏

市民講座

自分のために、家族のために ～学ばば不安も解消されます～

「今から始める老い支度」をテーマに、成年後見制度と生前整理についての講演会を開催します。

日時 3月23日（土）午後1時30分～4時
会場 福祉センター2階集会室

内容・講師
▷第1部 「成年後見制度について」・弁護士 岡垣 豊氏
▷第2部 「捨てるからはじめない住まいの生前整理収納」・㈱スペースR代表取締役 戸田里江氏
費用無料

共催 成年後見・権利擁護センターおうめ、市社会福祉協議会

直接会場へ

問い合わせ 成年後見・権利擁護センターおうめ

☎23-7868、市福祉総務課

※土、日曜日・祝日を除く午前8時30分～午後5時15分

自治会活動紹介コーナー44 地域の連携強化を目指して

自治会活動の基本は、隣組や関係団体といかに連携を深め、地域の皆さんと一緒に地域の安全・安心を築いていくかと考えています。

このため、第八支会の主な活動の柱として、「防災対策」、「学校との連携」、「ささえあいフェス・文化祭」を挙げています。

一つめの「防災対策」では、地域の特性を考慮して活動しています。具体的には根ヶ布地区など土砂災害区域や霞川流域の氾濫の恐れが考えられる区域については防災士や自治会長とともに現地を視察し、「地域とともにある学校」や学校と地域の連携・協働による「まちづくり」の特別講演をしていただきます。

また、30年10月20日には、国立博物館館長の銭谷眞美さんをお招きし、「地域とともにある学校」や学校と地域の連携・協働による「まちづくり」の特別講演をしていただきます。

このため、平成29年度に引き続き、四小、霞台中へ自治会長が講師となり、地域の歴史や文化を伝える授業を行いました。また、30年10月20日には、国立博物館館長の銭谷眞美さんをお招きし、「地域とともにある学校」や学校と地域の連携・協働による「まちづくり」の特別講演をしていただきます。

と考えると、「ささえあいフェス・文化祭」では、地域の小・中学生、保育園児の作品展示、保育園児による鼓笛の披露、地域のボランティア団体および近隣施設の作品展・販売、第八支会・各団体の活動紹介など、地域との連携を深め、多くの方に参加していただき、楽しい雰囲気や地域との交流と連携を図っています。

△青梅市自治会連合会ホームページ
www.ome-renoujia.jp
お問い合わせ 市民活動推進課地域支援係

それぞれの活動を、生徒はもちろんそのご家族にも知っていただきたい活動



特別講演 大塚 謙二氏
地域とともにある学校
～学校と地域の連携・協働によるまちづくり～